



丸善出版 学生向けタイトルセクション

サイエンス



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
科学を伝え、社会とつなぐ サイエンスコミュニケーションのはじめかた (※)	独立行政法人 国立 科学博物館 編	2017年	9784621301975	¥5,940	¥8,910	1026405281
サイエンスコミュニケーションとは、「科学の専門家と一般の人びとをつなぐ」「科学と社会をつなぐ」活動です。国立科学博物館は、2006年からサイエンスコミュニケーターの養成に取り組んできました。本書は、その10年以上にわたる経験を集約させたテキストです。本書には、研究機関やメディア、企業など、各分野の第一線で活躍しているコミュニケーターの考え方やノウハウがこの一冊に凝縮されています。研究者や学生、学芸員や理科教員、マスコミ関係者など、科学に関係する方に広くお薦めしたい一冊です。						
《吉川弘之対談集》 科学と社会の対話 —研究最前線で活躍する8人と考える(※)	国立研究開発法人 科学技術振興機構 科学コミュニケーション センター 編	2017年	9784621301494	¥5,940	¥8,910	1025376244
科学と社会がより密接な関係になるには、「社会」「科学」の双方から考える必要があるといえる。本書は、吉川弘之・東京大学元総長がインタビュアーを務め、科学技術の各分野で世界をリードする8名の研究者にこの難題をぶつけ、各研究者がどのように考えるかを興味深く語った内容をまとめたもの。「人間とは何か」という疑問を真剣に考え、真正面から答えようとする科学者たちの真摯な姿勢は、全ての対談に共通していることであるといえよう。						
強いAI・弱いAI—研究者に聞く人工知能の実像	鳥海不二夫著	2017年	9784621301791	¥5,940	¥8,910	1026634691
本書は、SF作品などに登場する、意識や自我を有した人工知能を「強いAI」、現在実際に存在する人工知能を「弱いAI」とし、その違いを理解するため、人工知能研究の第一線で活躍する9名の研究者へ行ったインタビュー集をまとめた一冊。「強いAI」「弱いAI」いずれも様々な視点があるため、各研究者がそれぞれの考えを述べて解説している。						
生命と科学技術の倫理学 —デジタル時代の身体・脳・心・社会— (※)	森下直貴編	2016年	9784621300176	¥9,240	¥13,860	1020598985
本書は、近未来のいわばデジタル世界を先取りし、生命(バイオ)技術を含めて人間に関連する先端科学技術のもたらす効果もしくは負荷に対して、私たちの社会がいかに対応したらよいかを探求する倫理学の本です。構成としては、序章では倫理の根本を押さえつつ、現代社会の中の科学技術システムの位置、科学技術倫理学とその根本問題および三つの基本課題を説明しています。これを受けて第1章から第11章までの各論では、身体・脳・心・社会をめぐって具体的事例をとりあげています。最後の結章では、三つの課題に対応する理論モデルが提案されています。						
宇宙の「一番星」を探して —宇宙最初の星はいつどのように誕生したのか—	谷口義明著	2011年	9784621084762	¥4,180	¥6,270	1013867170
本書のテーマは、今夜見える一番星ではなく、宇宙の一番星の事です。この137億年の歴史を持つ宇宙の中で、最初に生まれた星を探そうという話です。宇宙の一番星ができたのは宇宙年齢が1億年から数億年の頃だと推定されています。少なくとも130億光年以上彼方の宇宙での出来事です。宇宙の一番星を探すことは最果ての銀河を探すことに他なりません。本書で、この深遠な宇宙の神秘を垣間見ていただければ幸いです。						
感性を科学する	佐藤方彦著	2011年	9784621084304	¥6,380	¥9,570	1013867163
生理人類学の第一人者として身体全体のメカニズムを追いかけた著者が、絵画の感じ方や創作をスタート地点として、感性がどのように考えられてきたか解説し、どこから来たか、どのように考えればよいかを提唱しています。						

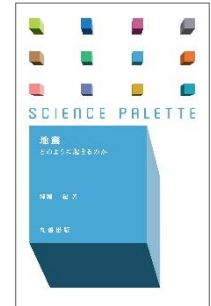
● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月

サイエンス・パレット

「サイエンス・パレット」は、科学分野から誰もが知っておきたいテーマを集め、1冊でコンパクトにそのテーマの概要がわかるシリーズです。

本シリーズを読み進めることで、多様な学問の考え方を知り、これまで積み重ねられてきた知の蓄積に触れ、科学の広がりとおもしろさを感じるができます。



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
人類の進化 —拡散と絶滅の歴史を探る— (サイエンス・パレット 013) (※)	Bernard Wood著 馬場悠男訳	2014年	9784621088043	¥3,300	¥4,950	1018441518
<p>私たち人類はどこから来たのか??古代ギリシャの時代から、人間は、この問いに向き合い続けてきました。そして今日、化石の形態的証拠に加え、元素分析やDNA分析などの手法の発展により、人類進化の足跡が徐々に明らかになってきています。しかし、私たちの起源を探る営みは簡単なものではありません。たとえば初期猿人の化石は、すべてを合わせても、スーパーマーケットのカートに収まるほどしか得られていません。しかもそのほとんどが、体のほんの一部の化石なのです。研究者はいかにして人類進化の謎を解き明かすのか、そして、その謎はどこまで分かったのか、—そんな私たち自身の起源に迫る謎解きの世界にご案内します。</p>						
化学 —美しい原理と恵み— (サイエンス・パレット 014) (※)	Peter Atkins著 渡辺 正訳	2014年	9784621088098	¥3,300	¥4,950	1017819863
<p>身のまわりから化学製品を消し去れば、石器時代の暮らしに戻ってしまう、と著者のアトキンスは言います。どういう意味なのでしょう? その答えを探す旅、化学の素顔をつかむ旅に読者を誘うのが本書です。化学はいつどんなふう生まれ、何を追い求めてきたのか? 化学者はどうやって新しいものを生み出し、その作品はどう社会に役立っているのか? 化学者はこれから何を目指し、何ができるのか? 私たちの暮らしとからませながらお伝えします。</p>						
ネットワーク科学 —つながりが解き明かす世界のかたち— (サイエンス・パレット 015) (※)	Guido Caldarelli・ Michele Catanzaro著 高口太朗・増田直紀訳	2014年	9784621088173	¥3,300	¥4,950	1017819865
<p>インターネット、知人関係、神経回路、食物連鎖、航空網、電力網。身近な暮らしから自然現象に至るまで、世の中には数多くのネットワークが存在しています。それらの様々な現象のつながり方のパターンを研究する学問がネットワーク科学です。本書では、工学、生物学、人類学、社会学、経済学など幅広い分野に現れるネットワークを、豊富な具体例を交えて解説してゆきます。つながりに注目することで見えてくる、分野と分野の垣根を越えた新たな知見をもたらす一冊です。</p>						
ウイルス —ミクロの賢い寄生体— (サイエンス・パレット 016) (※)	Dorothy H. Crawford著 永田恭介訳	2014年	9784621088166	¥3,300	¥4,950	1017819864
<p>私たちの歴史はウイルスとともにあるといっても過言ではありません。天然痘、黄熱病、SARS、AIDSなどの感染症の流行は、人類社会に大きな影響を及ぼしてきました。人類はウイルス感染から身を守る免疫システムを発達させ、ワクチンをはじめとした予防法や治療法を開発する一方、ウイルスも急速な変異でその裏をかく戦略を展開し、互いに進化しているのです。本書では、人類のウイルス観の変遷、感染のしくみ、さまざまな感染症の起源と現状、治療技術の進歩、ウイルスの地球生命圏における役割、そして私たちとウイルスとのこれからの付き合い方に関する提言まで、ウイルスの全体像を描き出します。この小さな賢い寄生体がどこから来て、本当は何がしたくて、どこへ向かうのか。それを考えることのできる一冊です。</p>						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月

【 サイエンス・パレット 】

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
恐竜 —化石記録が示す事実と謎— (サイエンス・パレット 017) (※)	David Norman著 富田幸光監訳 大橋智之訳	2014年	9784621088272	¥3,300	¥4,950	1017973272
映画やテレビ番組の中でリアルに動き回る恐竜。まるで見てきたかのようなあの姿は、いったいどうやって復元されているのでしょうか？そこには、古生物学者たちの努力と、最新技術の活用によって得られた様々な発見があります。恐竜は素早く動けたのか？知能はいかほどか？植物食恐竜はどのように植物を食べるのか？肉食恐竜の狩りのしかたは？古生物学者は、化石の形や大きさ、残っている傷などから、筋肉のつき方や姿勢、当時の環境を復元することで、これらの謎を解き明かしているのです。未知の巨大生物「恐竜」の発見から200年弱。限られた証拠をもとに、研究者たちがどのようにして恐竜の姿を復元してきたかをたどります。						
放射線 —科学が開けたパンドラの箱— (サイエンス・パレット 018) (※)	Claudio Tuniz著 酒井一夫訳	2014年	9784621088432	¥3,300	¥4,950	1018194146
この地球は放射線に満ちています。今この瞬間にも、放射線はあなたの体を通り抜けています。もちろんごく微量ですので、心配するには及びません。ただ、放射線の存在が認識されたのは19世紀末になってから。それから100年あまりの間に、人間はその力を用いて巨大なエネルギーを手に入れたり、食品の安全性を高めたり、太古の歴史を知ることができるようになりました。一方、放射線はキュリー夫人の体を蝕み、広島・長崎で多数の人を死に追いやり、チェルノブイリや福島の住民の生活に暗い影を落としました。本書では、そんな放射線と人間との関わりをコンパクトにご紹介します。放射線は私たちにどのような恩恵とリスクをもたらしたのか、その全体像がわかる一冊です。						
科学革命 (サイエンス・パレット 019) (※)	Lawrence M.Principe著 菅谷 暁・山田俊弘訳	2014年	9784621087725	¥3,300	¥4,950	1017819866
現代の私たちが知っている科学—天文学、地学、生物学、物理学、化学、医学などの学問はいつ、どのようにして生まれたのでしょうか？『科学革命』期に多くの思想家、研究者たちが、自然界を探索し、多くの解釈を試行錯誤し、聖書と人と自然界の関係についての考え方を大胆に転換してきました。本書では、キルヒャー、コペルニクス、ガリレオ、ニュートン、ボイル、ハーヴィーなどの科学の先人たちが熱い議論を交わした16、17世紀の科学史をたどることで、現代の科学の基盤を生んだ、ダイナミックな思考のうねりを感じることでできる本です。						
東洋天文学史 (サイエンス・パレット 020)	中村 士著	2014年	9784621088623	¥3,300	¥4,950	1018441519
アジアの天文学史という文脈の中に、日本天文学の歴史を位置づけることを目指し、全体を2部構成とし、第I部では、古代オリエントとギリシア、インド、中国、朝鮮および東南アジアの天文学史を概観し、第II部の日本天文学史へと展開します。いまや天文技術において世界をリードする存在となった日本に、いったいどのように天文学が紹介され、進歩していったのかがわかる格好の入門書です。						
数の世界 —概念の形成と認知— (サイエンス・パレット 021)	一松 信著	2015年	9784621088920	¥3,300	¥4,950	1017973273
「数って一体何なのだろう？」と思ったことはありませんか？多くの数学の名著をあらわし、数学教育に尽力する著者がその答えをコンパクトにまとめます。読み物風な歴史的な話から少し骨のある現代数学における扱いなどなど。高校までで聞いたことある話や大学で習う微積分の基礎の実数論や、四元数・八元数といった数についてまで書かれています。中学生・高校生のよくある質問「分数の掛け算はなぜ逆数を掛ける？」「なぜマイナス掛けるマイナスはプラス？」「虚数iって何者？」などについても随所に取り上げます。						
海洋生物学 —地球を取りまく豊かな海と生態系— (サイエンス・パレット 022) (※)	Philip V. Mladenov著 窪川かおる訳	2015年	9784621088937	¥3,300	¥4,950	1018194145
本書では、海の生態系に目を向け、ユニークな生物たちが繰り広げる共生や競争、環境への適応を知り、海本来の美しさと不思議さを垣間見ることができます。また、人間社会との関係を考えることも、いまの重要な課題です。私たちは資源や食料の多くを海に頼っており、同時に乱獲や沿岸開発、温暖化や海洋酸性化などを通して海の環境やそこに生きる生物にダメージを与えてきました。人間社会や地球環境に海がもたらす恵み、そして人間活動が海洋生態系に与える影響とは？地球の将来のカギを握る海との向き合い方を考えるのにも、最適の入門書です。						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月

【 サイエンス・パレット 】

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
リスク —不確実性の中での意思決定— (サイエンス・パレット 023) (※)	Baruch Fischhoff・ John Kadwany著 中谷内一也訳	2015年	9784621089187	¥3,300	¥4,950	1018858778
本書は、リスクについての一般原理をさまざまな事例に適用し、考察することによって、リスクを完全にゼロにすることは難しいけれど、いかにリスクを小さくおさえ、回避するにはどういった対処をすべきなのか、その基本的な考え方を学べるリスク分析の入門書です。リスクに直面したとき、どうなるのかと不安にさいなまれるのではなく、どうするか、自分で決断・決定できる。そのような人になるための一助となる書です。						
形態学 —形づくりにみる動物進化のシナリオ— (サイエンス・パレット 024)	倉谷 滋著	2015年	9784621089309	¥3,300	¥4,950	1018858779
本書では、「形が進化するとはどういうことか」という古くからの問題に取り組んだ学者たちの歴史を振り返りながら、進化生物学と発生生物学を取り込むことによって動物形態学が現在どのような理解の体系になりつつあるのかを描いていきます。そして発生プログラムの背景にある遺伝子に関する現在の知見を手掛かりに、最終的に動物がたどってきた進化のシナリオをひもとき、動物の祖先がもっていたであろう太古の姿を考察していきます。						
食 —90億人が食べていくために— (サイエンス・パレット 025) (※)	John Krebs著 伊藤佑子・伊藤俊洋訳	2015年	9784621089415	¥3,300	¥4,950	1019315069
食と人の長い歴史や、好き嫌いを生む味覚、また食べ物に潜む恐ろしい病気、栄養学と健康にまつわる話など、さまざまな視点から「食」についてお伝えします。最後の章では、2050年までに人口が90億人を超えると考えられていますが、その時、すべての人びとが十分食べていけるのかを考えていきます。						
幹細胞と再生医療 (サイエンス・パレット 026)	中辻憲夫著	2015年	9784621089439	¥3,300	¥4,950	1019315059
この分野で日本をリードしてきた著者が、多能性幹細胞の特徴、倫理問題の本質、世界の状況、そして治療や創薬への応用について、いま私たちに必要な知識を提供します。基礎研究で得られた知見を実際の治療につなげるにはどのような技術やプロセスが必要か、実用化への道筋がわかるのが本書の特長です。						
コンピュータサイエンス —計算を通して世界を観る— (サイエンス・パレット 028)	渡辺 治著	2015年	9784621089729	¥3,300	¥4,950	1019315068
人類に欠かすことのできないコンピュータの中で、何がなされているのか？そもそも計算とは一体何なのか？という素朴な疑問を皮切りに、プログラミングやアルゴリズム、シミュレーション、データマイニング、情報セキュリティといった話題からコンピュータサイエンスの全体像を見ることが出来るようになっていきます。計算を通して世の中を観るということの面白さと奥深さを実感出来る一冊です。						
医学の歴史 (サイエンス・パレット 029) (※)	William Bynum著 鈴木晃仁・鈴木実佳訳	2015年	9784621089422	¥3,300	¥4,950	1020083614
本書は、古代から19世紀末までの医療を、医者の行動の基本的な構造に着目して、5つの類型に分けて記述をしています。歴史的に発展した順番に、臨床、書物、病院、共同体、実験室という5つの類型が順次重層していきありさまと、20世紀以降においてそれぞれの類型が発展する様子が描かれています。各類型に登場する重要な医師も描きこむと同時に、新しい主題である疾病、患者、社会、政治に関する記述もされています。新しい医学史を参照しながら、医学の長い歴史を簡潔に説明しています。						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月

【 サイエンス・パレット 】

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
気候—変動し続ける地球環境 (サイエンス・パレット 030) (※)	Mark Maslin著 森島 濟監訳	2016年	9784621300459	¥3,300	¥4,950	1022115165
<p>本書は、大きく分けると3部構成となっており、1～4章では現在の気候の特徴とその形成の仕組みが、5～7章では氷期形成の話題を中心に過去の気候の特徴が、8～10章では地球温暖化の問題と未来の気候について語られています。過去と現在の比較から、現在の地球の気候システムの特徴がわかり、現在の地球温暖化という問題を、俯瞰的にみる視点を与えてくれる内容となっています。その点からも、学生の参考書や気候学に関連した諸分野の教科書としても気候の成り立ちを理解できる入門書といえます。</p>						
微生物—目には見えない支配者たち (サイエンス・パレット031) (※)	Nicholas P. Money著 花田 智訳	2016年	9784621300527	¥3,300	¥4,950	1022698666
<p>「微生物」とは、肉眼で捉えることのできない小さな生物のことを指します。大腸菌などの細菌、カビ・キノコなどの真菌類、植物プランクトンの微細藻類、アメーバやゾウリムシなどの原生生物、さらにはウイルス粒子までを含む多種多様な生物群の総称です。たった漢字3文字の「微生物」という言葉のもつ生物学的な広がり、驚くほど広大であり、分類も多岐に渡っています。そのため微生物の全容を解説するためには、細菌学、真菌学、原生生物学、ウイルス学などの膨大な知識が必要とされています。本書は、バクテリアやアーキア(かつては古細菌と呼ばれた分類群)、カビ、酵母、キノコ、微細藻類、原生生物、ウイルスにいたるまで、多くの微生物を網羅し、かつ簡潔に解説しています。肉眼では見えないものを可視化する「顕微鏡」のような役割を果たす一冊といえるでしょう。</p>						
微分方程式—物理的発想の解析学 (サイエンス・パレット 032)	中西 襄著	2016年	9784621300770	¥3,300	¥4,950	1023846029
<p>17世紀に微積分学が開花して以来、微分方程式から物理や工学のさまざまな現象を解き明かそうと多くの学者たちが努力してきました。その過程で新しい数学概念が生まれたり、時には微分方程式が予期せぬ事柄を暗示したり、自然科学と数学は大きな影響を与えながら互いにはぐみあってきました。本書は、素粒子物理学を専門とし、物理・数学に卓越した著者が、微分方程式の求積を主題とし、微分方程式で論じられることをコンパクトにまとめます。高校の微分積分法からぐっと広がる解析学の世界と、理論物理学的着想を合わせてお楽しみください。</p>						
原子核物理—物質の究極の世界を覗く (サイエンス・パレット 033) (※)	Frank Close著 名越智恵子訳	2017年	9784621301654	¥3,300	¥4,950	1024943403
<p>素粒子や宇宙科学へとつながる原子核物理分野の、また放射能・放射線の入門書。発展の歴史や思考のポイントの時間軸を追うことにより、要点や医学分野への応用展開がわかる。</p>						
対称性—不変性の表現 (サイエンス・パレット 035) (※)	Ian Stewart著 川辺治之訳	2017年	9784621302033	¥3,300	¥4,950	1026634693
<p>一般に“対称性”という言葉は、左右対称(線対称)や点対称として使用され、視覚的なイメージが先行しますが、数学者は、対象のある種の性質が変わらないような変換として対称性を特徴づけています。日常生活に関する対称性の簡単な例から始め、平行移動、回転、鏡映、置換などの対称変換の考察から、対称性の本質に迫ります。また、結晶、水の波、砂丘、地球の形状、渦巻銀河、動物の模様、貝殻、動物の歩容、オウムガイの貝殻といった自然のパターン、特に日常生活に馴染みあるものの中に潜む対称性とその表現や、ノーベル物理学賞などでもキーワードとなる対称性の破れという概念など、対称性に関する広大な世界をイワン・スチュアートが描きます。</p>						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月

パリティブックス



物理の専門雑誌「パリティ」で連載した講座の中から、特に普遍的な内容の記事を厳選し、電子化いたしました。

書名	著编者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
[新装復刊]パリティブックス いま、もう一つの素粒子論入門(※)	益川敏英著 パリティ編集委員会編	2017年	9784621301616	¥4,950	¥7,425	1025193945
物質の存在形態や運動法則を明らかにする素粒子物理学を学ぶには、基礎物理の知識や数学的手法の習得が必須。本書では、相対論・量子論の基礎から始めて素粒子の標準理論まで、コンパクトにまとめ全体を俯瞰できる。						
[新装復刊]パリティブックス いまさらエントロピー? (※)	杉本大一郎著 パリティ編集委員会編	2017年	9784621301623	¥4,950	¥7,425	1025193944
「エントロピー」は重要な概念・量であるが、非常にわかりにくい。現実世界の具体的な物や現象と関連づけ、様々な視点からアプローチし、直感的に理解し実際に使えるようになることを意図して解説する。						
[新装復刊]パリティブックス いまさら流体力学?(※)	木田重雄著 パリティ編 集委員会・ 大槻義彦編	2017年	9784621302088	¥5,940	¥8,910	1026634698
流体力学の歴史は古く、アルキメデス、レオナルド・ダ・ヴィンチなどの先駆的な時代に遡らずとも、完全流体やニュートン流体の運動方程式が確立されてから既に一世紀半が経過しています。運動方程式の解を求めれば、流れの構造が全て理解できるといえます。本書は、1994年刊行のパリティブックスの新装復刊。旧版は、パリティ1992年4月号～1993年3月号連載の同名の講座を単行本化したものです。身近な例を取り上げながら流体力学の基本的考え方や解析の手法をわかりやすく解説しています。水や空気の流れ、コマや玉子の回転など現象のおもしろさを知ることができ、さらには気象現象や乗り物の抵抗などの裏にある流体现象についてもやさしく解説しています。図や写真も多用しており、初心者の方にも取りつきやすく、理解しやすい内容となっています。						
[新装復刊]パリティブックス いまさら電磁気学?(※)	青野 修著 パリティ編 集委員会・ 大槻義彦編	2017年	9784621302095	¥5,610	¥8,415	1026634699
パリティ1991年4月号～1992年3月号連載の同名の講座を単行本化したパリティブックスを新装復刊しました。古典物理学として完成された電磁気学は、数式を用いないで語るの難しく、数式を用いても易しくはありません。そのため、さまざまな分野の基礎である一方、数学的な取り扱いや単位系、数式と現象の関係などがつかみにくい学問であるといえます。本書では、典型的な事例や現象を取り上げ、数式よりも図を多用してわかりやすく解説しています。体系的な解説でなく、歴史的発見や身近な出来事を取り上げながら、そのなかで電磁気学が担う役割を紹介していきます。電磁気現象のおもしろさを再発見し、自然現象の大部分に関係する電磁気学の基礎を目に見えない電磁場をイメージしながら理解できる一冊です。						
[新装復刊]パリティブックス いまさら量子力学?(※)	町田 茂・原 康夫・ 中嶋貞雄著 パリティ編集委員会・ 大槻義彦編	2017年	9784621302200	¥4,950	¥7,425	1026634697
20世紀がはじまろうとしていた1900年、エネルギー量子が発見されました。21世紀を迎え、量子力学の影響はあらゆる方面に、徐々に深く広がりがつあるといえます。本書は、パリティ1987年4月号～1988年3月号連載の同名の講座を単行本化した書籍の新装復刊です。キーとなる概念やよく話題となる典型的な現象を取り上げて、その物理的意味や重要性を解説しています。量子力学が描き出す自然の姿は、私たちの常識に反する面をもっています。しかし、その理解は理論的にも実験的にも急速に進歩し、応用面への展望もふまえて新しい段階へ進もうとしています。素粒子の世界からマクロな世界まで、あらゆる場面に現れる量子力学特有の不思議な現象。その基本的な考え方と物理的意味を、3人の著者がユニークな視点からリレー解説します。						
[新装復刊]パリティブックス 歴史をかえた物理実験(※)	霜田光一著 パリティ編集委員会・ 大槻義彦編	2017年	9784621302071	¥5,940	¥8,910	1026634696
独創的・創造的な基礎研究の重要性が指摘されています。ですが、先駆的な研究がどのように行われているのかは、あまり知られていないのではないのでしょうか。研究報告などでも、たとえば、研究をはじめたきっかけや、着想などはほとんど書かれてはいません。「失敗は成功の母」ともいわれるように、研究での失敗なくして画期的な研究結果を得ることはできないでしょう。パリティ1995年4月号～1996年3月号連載の同名の講座を単行本化した書籍の新装復刊版です。現代物理学の発展に寄与した物理実験の中でも電磁気や光学系を中心に、世界観や考え方、学問の方向性を変えた重要な物理実験を取り上げ、何が重要でその後の歴史にどう影響したかを、わかりやすく解説しています。図も多用して、昔の実験も具体的に把握でき資料的にも有用な一冊です。						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月